

ブルガーコフ

『**白**衛軍』

イラスト展

『巨匠とマルガリータ』で名高いロシアの文筆家ミハイル・ブルガーコフは、ソビエト社会体制に批判的な作風で知られています。ブルガーコフのもう一つの代表作『白衛軍』は、ロシア革命後のウクライナ・キーウを舞台に、歴史の大きな変動に飲み込まれながらも日常を保とうとする家族「トゥルピン家」とその周囲の人々を描いた物語です。帝政ロシアの崩壊や、赤軍、白衛軍、ウクライナ人民共和国勢力が交錯し、戦争の混乱とその中での日常の輝きが対照的に描かれている作品です。

この『白衛軍』をもとに、ウクライナ人の父親とロシア人の母親を持つ、キーウ生まれの画家セルゲイ・チェピックがアーティスト・ブックを作りました。本展覧会では、このチェピックが作品化した『白衛軍』観を複製リトグラフイーでたどり、またアーティスト・ブックとしての独自の試みを味わうことができます。

主催：文部科学省科学研究費 20KK0002（国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））「芸術作品の流通と美術コレクション形成」

共催：東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 駒場博物館

協力：Atelier Sergei Chepik、駒場リベラルアーツ基金

会期：2025年7月26日（土）
～9月15日（月・祝）

休館日：毎週火曜日、8月13日（水・本学夏季一斉休暇日）

開館時間：10:00～17:00

入館無料

会場：東京大学駒場博物館

住所：153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

Tel：03-5454-6139 Fax：03-5454-4929

E-mail：komabamuseum@museum.c.u-tokyo.ac.jp